

# 住民がとるべき行動を5段階に分け、 情報と行動の対応でお知らせします

平成31年3月に、内閣府より避難勧告等に関するガイドラインの改定版が公表されました。「自らの命は自らが守る」という意識のもと、住民の避難行動等を支援する防災情報を提供するための改定です。

避難勧告や避難指示（緊急）を発令する場合、警戒レベルもあわせてお伝えしますので、警戒レベルに応じた行動をとるよう心がけてください。市では、この改定を受け安来市地域防災計画等を見直します。（防災課 ☎23・3171）

警戒レベル	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	【命を守る最善の行動】 既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。	災害発生情報
4	【避難】 ・指定緊急避難場所等への立ち退き避難を基本とする避難行動をとる。 ・指定緊急避難場所への立ち退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内より安全な部屋への移動等の緊急の避難をする。	避難勧告 避難指示（緊急）
3	【高齢者等は避難】 避難に時間のかかる高齢者等の要配慮者は立ち退き避難する。その他の人は立ち退き避難の準備をし、自発的に避難する。	避難準備・ 高齢者等避難 開始
2	【避難行動の確認】 ハザードマップ等により災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等の再確認、避難情報の把握手段の再確認・注意など、避難に備え自らの避難行動を確認する。	注意報 (気象庁が発表)
1	【心構えを高める】 防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める。	早期注意情報 (気象庁が発表)

安来市出身の加納莞菴は、若い頃に岡田三郎助の下で写実的な描き方を身に付け、フランスで生まれたフォービスムと呼ばれる独自の表現方法に出会いました。戦時中に中国大陸に移ると、写実的な絵を数多く描くことで高い評価を得るようになりました。



「静物」1933年。初公開作品

戦後、平和運動を進めながら、彼は再びフォービスムの技法で

## 加納莞菴大回顧展は 6月10日まで開催

安来市加納美術館だより ☎36-0880



柿と柘榴（制作時期不明）

鑑賞会の活動をしている「みるみるの会」メンバーがやっています。楽しい会話をしながら莞菴作品の世界を味わってみませんか。（予約不要、要入場料）  
▼安来市加納美術館…毎週火曜日は休館。《開館時間》9時～16時30分（入館は16時まで）。  
《入館料》一般1000円、学生500円、中学生以下無料。

絵を描くとともに墨彩画を描くようになります。それはまさに「墨彩画のフォービスム的表現」と呼べるものです。

この機会に奔放で壮大なスケールの莞菴の人生を体感していただけたら幸いです。

### ▼対話型鑑賞会のお知らせ

6月2日(日)午後1時30分～3時、島根県内の美術館で対話型

▼名碗を愉しむ会のお知らせ  
6月16日(日)、茶室「如水庵」で名碗を愉しむ会を開きます。

解説を聞きながら企画展を観た後、名碗に触れていただき、ゆったりとお茶を愉しんでいただきます。会費は一人2500円。



3代徳田八十吉